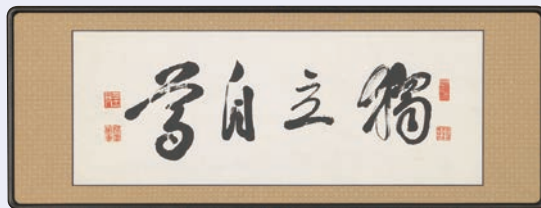


## 塾名の由来

慶應義塾は1858（安政5）年10月に、福澤諭吉によって創立されました。開塾後10年間は確とした塾名はなく、一般に「福澤塾」の名で知られていました。

1868（慶応4）年4月に塾舎が築地鉄砲洲の中津藩中屋敷から芝新銭座に移転し、学塾の組織を新たにして、近代学塾としての基盤を築いた時の年号をとって「慶應義塾」と命名することになりました。

福澤諭吉がイメージした「義塾」とは、イギリスの私立学校、パブリックスクールのことだと思われ、慶應義塾は西洋の共立学校の制度に倣って組織・運営されました。

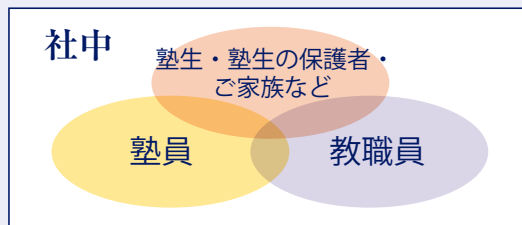


福澤諭吉遺墨「独立自尊」

## 慶應義塾を支える社中と三田会

慶應義塾の創立者である福澤諭吉は、慶應義塾同窓生社中の集まりをとっても大切にし、各地の大小さまざまな同窓会に進んで出席し、広尾の別邸にも大勢の塾員（卒業生）を集めて大園遊会を開くなど、社中の交流を奨励しました。

塾員有志もさまざまな側面から母校を支援するなど、その過程において慶應義塾



社中としての結びつきが自然と形成されていきました。それが三田会へと発展し、現在も全国各地でたくさんの塾員が参加しています。社中のコミュニケーションが、社会貢献に繋がっています。

### ✂ 住所変更等の届出

改姓、転居等で氏名や住所あるいは勤務先の変更があった場合は、下のいずれかの方法で塾員センターにお届けくださいますようお願いいたします。

1. メールフォーム [URL http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html](http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html)
2. FAX 03-5427-1546
3. 郵送 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾塾員センター

※1の方法による場合は、メールアドレスも塾員情報としてお預かりいたします。なお、2・3の方法による場合は、氏名・卒業年、学部、生年月日、自宅住所、自宅電話番号、勤務先を記載のうえ、お届けください。

# 社中の丘

「卒業生のページ」

Keio University



社中とは、慶應義塾を構成している全ての人を包含する総称です。このページでは特に卒業生の方に向けた情報をお伝えします。

# 三田会活動

## 地域三田会

三田会は全国各地で定期的に開催されていますが、今回は2018年7月に開催された東北連合三田会を紹介します。

2018年は、岩手三田会が幹事役となり、総会、記念演奏会、懇親会の順に行われました。地元の小・中・高校生による演奏会も企画され、参加した塾員は心に響く演奏会であったと喜んでいました。

このような三田会が全国各地で開催されています。ぜひ、地元三田会にお出かけください。



## 慶應連合三田会大会

慶應連合三田会が主催する義塾社中の祭典が、毎年日吉キャンパスで開催されます。昨年も22,000人の社中が来場しました。



## 三田会活動支援と個人情報保護の両立への取り組み

慶應義塾では、「氏名」「自宅住所」「勤務先」「メールアドレス」を、ご卒業後も塾員情報として、塾員センターのもとで確かにお預かりする仕組みをとっています。この仕組みのもとで、塾員お一人おひとりに、慶應義塾からのお知らせをお届けするとともに、三田会、クラス会などの同窓会活動を支援する取り組みにも活用しています。

同窓会（三田会）活動の支援について、例えば、地域で活動する三田会からその地域在住の塾員の皆さまに懇親会の開催案内を送付したい旨のご相談を受けることがあります。その場合、あくまで

も同窓会活動に限定のうえで、まず所定の書式に塾員であることが確認できた三田会役員の方複数名の署名捺印をいただき、さらに個人情報の管理体制について確認して認めることができた場合に限り、情報提供する方式をとっています。

今後も、同窓会としての三田会活動支援と塾員の皆さまの個人情報保護の両立とのバランスに十分に配慮したうえで、社中の皆さまの繋がりが広がるよう取り組んでいきます。また、三田会を統括している慶應連合三田会とも連携して三田会活動の発展につとめてまいります。

慶應オンラインを利用されている方へ

ご登録されているメールアドレスに慶應義塾からの情報や慶應連合三田会からのご通知なども発信しますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

## ✂ 「慶應義塾 三田オープンカレッジ」を開講します

社会人の多様な学習ニーズに対応するため、2019年度から新たにリカレント教育講座「慶應義塾 三田オープンカレッジ」を、三田キャンパスで開講します。専用 Web サイトが完成しましたら（3月予定）、慶應義塾メールマガジン等でお知らせします。なお、講座にはどなたでもご参加いただけます。

**日 程**：春学期前半：5月11日（土）、18日（土）、25日（土）、6月1日（土）  
（2019年予定）春学期後半：6月15日（土）、22日（土）、29日（土）、7月6日（土）  
秋学期前半：9月28日（土）、10月5日（土）、12日（土）、19日（土）  
秋学期後半：11月2日（土）、9日（土）、16日（土）、30日（土）

**開講講座**：講座Ⅰ（レクチャー形式、原則8回、受講料：3万円、定員：100名〔予定〕）  
講座Ⅱ（ゼミ形式、原則8回、受講料：10万円、定員：20名〔予定〕）

## ✂ 慶應義塾公式グッズのご紹介

慶應公式グッズ

検索

慶應義塾では、多数の公式グッズをご用意しています。売り上げの一部は奨学金として塾生に還元されています。お求めやすい価格帯のものから本格派まで、品揃えは多彩です。ここでは新商品をご紹介します。

### ■ル・クルーゼ タンブラー（税込各 3,000 円）



### マグカップ（税込各 3,500 円）



※他に「ペア・スリムタンブラー」（税込 3,800 円）

### ■イタリア製 本格レザーベルト（ホワイト）（税込 16,000 円）



### ■スコットランド製 カシヤマフラー （税込各 24,000 円）

※カラー：ネイビー、ワイン、  
ライトグレー



### 取り扱い・お問合せ先

慶應義塾三田インフォメーションプラザ1階  
電話：03-5427-1436

## ✕ 学事振興のさらなる発展に向けて

慶應義塾は、日本の高等教育の歴史において早くから学事振興に力を入れてきました。中でも「福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金」と「小泉信三記念慶應義塾学事振興基金」は長く義塾の教育研究の発展に寄与してきました。

### ○福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金

創立100年を迎えた直後の1961年、義塾は戦災を受けた施設の復興の途上にあり、施設の充実は喫緊の課題でしたが、高村象平塾長（当時）在任中、「学事の振興、学者の育成は義塾百年の計である」ことを優先し、主に寄付金によって研究の振興、研究者の育成を目的として設置されました。

助成は、国外派遣留学生4名、研究補助4件、出版補助2件で始まりしました。事業は塾長及び塾長が委嘱する委員で構成される運営委員会により運営されています。現在の基金残高は、およそ18億円に上り、教職員の国外派遣留学、研究費の給付、学術出版、論文掲載料補助事業が行われています。

### ○小泉信三記念慶應義塾学事振興基金

1966年に逝去した元慶應義塾長の小泉信三の遺徳と功績を顕彰し、その名を永く後世に伝えることを目的に寄付金によって設置されました。

本基金は、塾長及び塾長委嘱の委員で構成される運営委員会により運営されています。小泉が学生の勉学とスポーツを奨励したことに鑑み、塾生学問の奨励、塾生体育の奨励、小泉信三賞全国高校生小論文コンテストなどが実施されています。また、学術の国際交流を促進するため、国外出張費補助、外国人学者招聘費補助事業のほか、小泉信三記念講座を公開講座として開催しています。現在の基金の総額はおよそ14億円になります。

世界の学塾として評価されるためには、将来を担う若手研究者や塾生を育む多様な教育研究プログラムを充実させる必要があることは論を俟ちません。しかし、現状では基盤となる自己資金が不足しているため、短期的・中長期的な双方の視点で基金のさらなる拡充を行う必要があります。この趣旨に広くご賛同いただきまして、塾員の方々をはじめ社中の皆さまからのご支援ご協力を賜りたく、何卒よろしくごお願い申し上げます。

<ご寄付の方法>

#### 【個人でお申し込みをいただく場合】

◎一口1万円（できましたら三口以上）のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）

慶應義塾所定の「払込用紙（兼申込書）」をお使いのうえ、最寄りの金融機関（銀行または郵便局）窓口からお振り込みください。

#### インターネット募金

慶應義塾基金室 Web サイト（<http://www.kikin.keio.ac.jp/ffkf>）からお申し込みください。

#### 【法人・団体でお申し込みをいただく場合】

◎詳細につきましては、お手数ですが、慶應義塾基金室までお問合せください。

お問合せ先 慶應義塾基金室 電話：03-5427-1898 メール：kikin-box@adst.keio.ac.jp

